

令和5年度高等学校生徒支援体制充実事業 教育活動充実支援事業【インターンシップ教育】研究成果発表 宮城県白石高等学校七ヶ宿校

☆ 教員研修会 (12/1)

【講師】宮城学院女子大学
教授 梅田 真理
【内容】インターンシップ報告会準備の生徒参観と生徒支援に関するケース会議
【参加者】校外教員16人
校内教員 11人



☆ 学校視察 (12/13)

【視察先】京都市立京都奏和高等学校 訪問教員2名
【内容】3修制・4修制定時制課程単位制普通科の学校を視察。生徒支援体制・キャリアデザイン・学び直し等の取組等多くを学び、校内において伝達講習会を実施
(12/25)

少人数教育七ヶ宿校 地域社会に貢献できる人材の育成

七校での学び
「生徒が学びたいと思う学校づくり」

地域でのインターンシップ(職業体験)
「地域・地元企業との連携・協力関係の構築」

主体的な学び「学習意欲の形成」「勤労体験による自己理解」

- ・学校での学びが就業先でどう用いられ、役に立つかを整理する(気付く学びと、実感を持った学び)
- ・働く楽しさ、厳しさ、喜び、辛さ等を実感し、自らの個性適性を把握する(多様な経験による自己理解)

対話的な学び「職業人との交流・相互理解」「社会人としてのマナーを身に付ける」

- ・就業先で働く職業人と交流・相互理解し、認められた自分を素直に受け入れる(自己肯定感の醸成)
- ・職業体験で社会人としてのマナーを身に付け、思いやりの心を育てる(安心できる人間関係の形成)

<インターンシップ受入事業所等>

・七ヶ宿町高齢者生活福祉センターいこいの里 ・七ヶ宿町立関保育所・(株)ミヤギタノイ・(株)はたけなか製麺 ・(株)ヨークベニマル白石店・医療法人浄仁会大泉記念病院・イエローハット白石店・船岡自動車整備工場(有)・宮城県農業大学校

【本事業における取組と成果】◆昨年度より継続している教員研修会では、さらに多くの校外参加者を受入れ、ケース会議を実施し、生徒への支援や対応に関する研鑽を深めることができた。また県外学校視察も大変有意義であった。インターンシップについては、事前(自己紹介カード・企業・施設研究シートの作成)指導会、事後(報告会準備)の振り返りを丁寧に実施した。生徒の3年間を見通した進路指導については、今後も地域のご協力もいただきながらインターンシップ教育を軸に継続して取り組んでいきたい。

○ 11月インターンシップの実施 (11/7-8)

1年生:就業体験選択生徒2名
2年生11名全員を対象に
主体的体験の学び場として
将来の進路実現をイメージしながら取り組みました

○ インターンシップ成果発表会 (12/15)

生徒11人が発表。受入事業所1社が参加。発表にコメントいただく。

